



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO
CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2018年53月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

EF/JEF エンダウメント基金/東日本区ワイズ基金

— 主 題 —

国際会長	「Let Us Walk in the Light-Together」 —Fellowship across the Borders—	Henry Grindheim (ルウエー)
アジア会長	「Let Us Walk in the Light-Together」	Tung Ming Hsiao (台湾)
東日本区理事	「広げよう ワイズの仲間」	栗本 治郎 (熱海)
北海道部部长	「EMCの強化」	森 熊治郎 (札幌北)
札幌クラブ会長	「楽しいワイズ」	柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長	柴田 伸俊
副会長	中田 千鶴
書 記	中田 靖泰
会 計	秋葉 聡志
直前会長	宮崎 善昭

今月の聖句

「あなたがたの信じているとおりになるように」
マタイによる福音書9章29節 秋葉聡志選

チャリティーランへの思い 会長 柴田伸俊

北海道 YMCA のチャリティーランに関して、はや十数年。最初は手作りっぽいイベントだったように思うが、最近は参加者も増え関係者としてはとても嬉しい事だ。特にここ数年は幼稚園の参加もあって、子供達のにぎやかな声が会場の雰囲気をととても和やかにしてくれている。まさにチャリティーランは YMCA らしい事業に育ってきた。より多くの家族や子ども達に体験させてやりたい、私にとっても思い入れの強い事業である。

スマホのおかげでパソコンゲームがスマホゲームに早や代わりし、外に出ても場所がない仲間がいない悲しい現実。子ども達の遊びを変えてしまった現代文明。物（スマホ・パソコン）が人間関係、親子関係、友達関係の中に大きく割り込んできた。当然二次被害が十分考えられる。顔の見えない相手とも平気で話ことができ、擬似の世界との境界が見えなくなり、相手の顔を見て怒っている、悲しんでいる、訴えていると感じる感性が隅に追いやられる。そんな不安の中、大人は何かしてやらなければならない。

チャリティーランに参加して、外の空気に触れ、仲間と語り合い、痛みを分かち合える機会を無くしてはいけない。そんな思いで今年も参加したい。



2018年4月例会 在籍会員 10名 例会出席 4名 メネット 0名 メーカーアップ 0名
出席報告 ゲスト 3名 ビジター 1名 計 8名 出席率 40%

札幌ワイズメンズクラブ

2018年5月例会

日時 2018年5月15日(火) 18:30~20:30

会場 北海道 YMCA

札幌市中央区南11条西11丁目1-2

Tel. 011-561-5642

会費 1,000円

プログラム

司会 秋葉 聡志

- ① 開会点鐘 札幌クラブ会長 柴田 伸俊
- ② ワイズソング・ワイズの信条 全員
- ③ 聖句 3日 宮崎善昭 柴田 伸俊
- ④ 開会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊
- ⑤ 誕生日 6日 宮崎由美子
- 18日 秋葉康子
- 28日 伏木 康
- 30日 川上由美子

結婚記念日 5月2日 秋葉聡志・康子夫妻
 5月7日 宮崎善昭・由美子夫妻

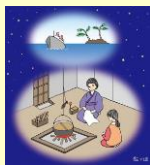
⑥ 卓話

子どもの外遊び

こども体験活動の場Coみどりスタッフ

寺坂 崇様

- ⑦ 諸報告
- ⑧ YMCA報告 担当主事 佐藤 雅一
- ⑨ みんなで歌おう



里の秋

⑩ 閉会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊

札幌ワイズメンズクラブ3月事務会

日時: 2018年4月24日(火) 19:00~20:00

場所: 北海道YMCA 総主事室

参加者: 秋葉、佐藤、柴田、

① 5月例会: 5月15日(火) 18:30~20:30

② 5月事務会: 5月29日(火) 19:00~20:00

③ プリテン: 聖句 秋葉聡志、
巻頭言 柴田伸俊

④ 誕生日: 3日 宮崎善昭 6日 柴田 邦子
16日 宮崎由美子 18日 秋葉康子
28日 伏木 康 30日 川上由美子

結婚記念日: 2日 秋葉聡志・康子夫妻

7日 宮崎善昭・由美子夫妻

⑤ 卓話: 未定



北海道部 第2回評議会・次期役員研修会

2018年4月28日 ホテルさっぽろ弥生

4月28日(土)、「北海道部第2回評議会・次期役員研修会」がホテルさっぽろ弥生において札幌北クラブのホストで行われました。

東日本区から宮内友弥次期理事、板村哲也次期書記の2方が出席して下さいました。

札幌クラブ参加は4名でした。

評議会での決定事項

★次次期部長: 宮崎善昭、

★2018-19部会: 8月25日プラザホテル(北見市)

★2018-19第2回評議会: ホスト(札幌クラブ)

などが決議されました。

懇親会

会場をロイトン札幌の20階、展望の素晴らしい部屋に移して楽しい時間を過ごしました。



後列 左から、秋葉、伏木、中山

何故この聖句を? 秋葉 聡志

2018年度の北海道YMCAの年間聖句です。

イエスが二人の盲人の目を癒される時に語りかけられた言葉です。そこに自分を救い主と信じる人の信仰を見た時、「あなたがたの信仰通り、あなたがたの身になるように」と、イエスは信じることの力を語られるのです。

中期計画とYMCAの望まれる姿を求めるブランディングをまっすぐ見据え、この聖句と共に1年間を歩みたいと思います。



本日は札幌ワイズメンズクラブ例会にお招き頂きありがとうございます。今日は「私とフルート」というテーマで楽器について簡単なお話と、演奏を聴いて頂きたいと思います。私が手にしているのは皆さんよく御存知のコンサートフルートですが、フルート族としてはピッコロからコントラバスま

で幅広い音域をカバーしております。フルートだけでオーケストラまで出来てしまうのです。例年、札幌フルート協会の主催で年一度そのコンサートがありますので、のご案内（6月3日於キタラ）をさせて頂くと共に、協会副会長の八條さんをご紹介します。本日は私の演奏のサポートをさせていただきます。また、リコーダー、バロックフルート、バスフルートも持参していただきました。

*私とフルート

今年90才になるスイスのフルーティスト、ペーター＝ルーカス・グラーフさんのコンサートで、「現役を続けられている秘訣について」との質問に「今が最もうまい。成長していると思いつけること」と言われていました。概して音楽家は長命な方が多いと思いますが、おそらく成長を信じることと、実感すること、そして日々の楽しい練習、チャレンジの賜ではないでしょうか。

実は、なかなか思ったように課題をこなせず「音楽」の「楽」はどこにあるのだろうと疑問に思う事もしばしばあります。時として、簡単に音が出るオカリナや、リコーダー等に転向しようと思う事もあります。しかし結局のところ、「如何に美しく歌うか」と言うことが出来なければ、どの楽器でも同じです。むしろ「ぼけ防止」と思い直し、日々労多き練習をしております。因みに出来が悪い私は、毎日1時間半程度は最低限レッスンをしております。従いまして、昼食を摂った後は、くたくたの状態ですら30分程度の昼寝もまた日課になっております。

過日、スピーチの依頼がありました時に、愛するフルートについて実は良く知らない事に気がつきました。本日は付け焼き刃ではありますが楽器について少し調べて参った事を、お話をさせていただきます。

*フルートの起源

起源については定かでは無いようですが中空になった骨や木の穴に息を吹き込んだのが偶然の発見だったようで、太古の昔から各地に発生があったようです。現在、私たちがフルートと言っているものは、東方起源のようで現在のドイツに伝えられフランス、スペインをはじめとしてヨーロッパ各地に「ドイツのフルート」と呼ばれ定着していったとの事です。

*笛の分類

リード(Reed)の有無で分類をすると、

▼「有り」の楽器：クラリネット、箏篋(ひちりき)、オーボエ、ハーモニカ等

音だしは多分簡単(経験がないので想像です..)

▼「無し」の楽器：

① 音だしが難しい楽器：フルート、尺八、篠笛、ケーナ等

② 音だしは簡単な楽器：オカリナ、リコーダー等

②の音だしが簡単な理由は、その構造にあり、吹き込んだ息が細く早い気流を生むようになっていると言うことです。①の楽器は、そのコントロールを自分の唇の形、角度で作り出さなければならぬので、一定程度の習熟が必要になり、従ってそれぞれの個性があらわれるのです。

*発展

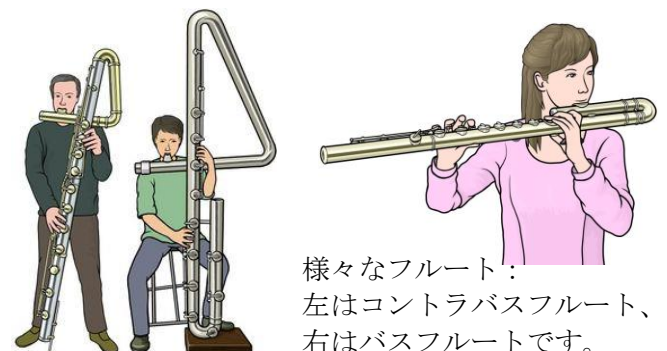
フルートはその繊細な音色と、ピアノほどの鍛錬までは要しなかったので一般に愛されるとともに王侯貴族にも愛されました。プロシアのフリードリッヒは、自身でも作曲をし、その姿が絵画としても残されています。しかし、オーケストラが隆盛するにつれて、音量が乏しい、音域が狭い、安定した音だしが難しい等の理由で当時の作曲家にはあまり採用されなかったようです。

そこで、ドイツのテオバルト・ベームという演奏家であり、鍛冶職人であった人が、キーシステムを発明し、音孔を大きくし(大きな音が出せる)、同時に複数の音孔を押さえる事が可能になり、人間の手指のサイズを克服し、音響学的に最適な音孔の位置決めが出来たのです。現在のフルートは、その名を冠した「ベーム式フルート」とも呼ばれています。

*フルート材質と部品

キーシステムの発明はフルート構造も複雑にし、その部品点数は約300といわれています。しかし、その装飾性と相まって、美術工芸品的な価値も楽しませてくれています。

材質には、金、銀、プラチナ、洋銀、木等が使われていますが、それぞれ響き具合、柔らかさ、音量等に特質があり、材質を言い当てる目隠し聞き比べ等もあるそうです。フルートは見た目は金管ですが、分類上は木管楽器なのです。とりとめもないお話をさせて頂きましたが本日の演奏は下記の通りですので、お楽しみ頂けたら幸いです。



様々なフルート：
左はコントラバスフルート、
右はバスフルートです。

YMCAニュース 担当主事 佐藤 雅一

① チャリティーラン YMCA で実施！

5月13日、第23回チャリティーランがYMCAの体育館で行われ、大いに盛り上がりました。前日から雨の予報だったため、真駒内公園からYMCAに変更し実施しました。幼稚舎はランニングトラックを使ってのミニマラソン大会、その他の参加者は体育館でピンポン球をスプーンや箸で運ぶチーム対抗ゲームを行いました。駅伝チームの他参加者同士や、専門学校生・スタッフと組んでの合同チームでゲームを行い、楽しい一時を過ごしました。参加費、ビンゴカードの売上は北海道YMCAが行っている障害児プログラムの支援とボランティアリーダー育成のために使われます。

②ベトナムボランティアワークの旅 参加者募集説明会
第23回ベトナムボランティアワークの旅の参加者募集が始まっています。

期間： 2018年8月4日(土)～14(火) 10泊11日

集合解散： 新千歳空港集合・解散

募集対象： 高校生以上でベトナムへの支援活動に関わろうとする人

費用 135,000円 *航空運賃は含んでいません。*
内容をご説明すると共に、不安や疑問にお答えします。
下記の日程で行いますので、多くの方にご紹介下さい。

◎札幌 日時 ①5月26日(土) 14:00

②6月9日(土) 10:00

③6月18日(月) 19:00

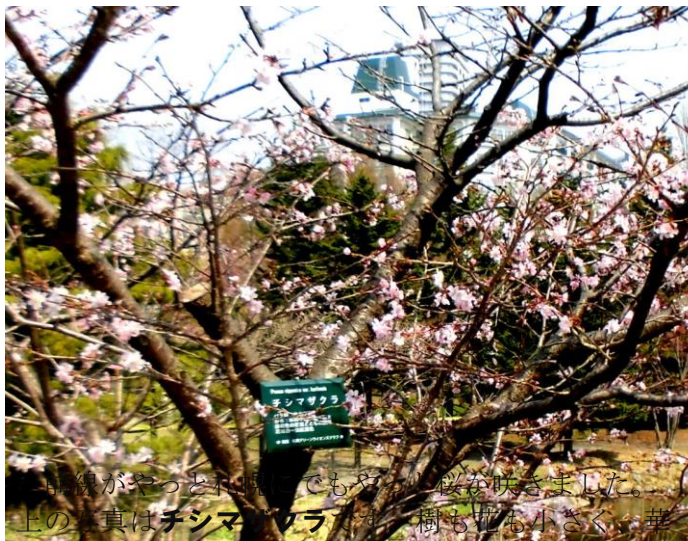
◎場所 北海道YMCA

(札幌市中央区南11条西11丁目 電話011-561-5642)

*当日直接会場にお越しください。

東京山手クラブのブリテン5月号の浅羽俊一郎さんの文に心打たれました。浅羽さんは亡くなられたお父上の遺品の中にお父様の学友神津直次氏の文を紹介されています。神津氏は人間魚雷「回天」の生き残りです。札幌のブリテン編集員中田会員は浅羽氏の父上の少し後輩、旧制高校最後の期です。山手のブリテンに触発され、あの時代を思い返し下。の記事を書きました。お読みいただければ幸いです。(中田靖泰記)

北方領土、めぐみさんを忘れるな！



「昔がやっとならぬでもやっとならぬを咲かしました。上の写真はチシマクラブの桜も花を小さく、華やかさでは吉野山や千鳥ヶ淵の足元にも及ばず、インスタ映えはしませんが、見慣れるとなんとも可憐で愛らしく、粘り強さでは負けません。今年も「北方領土をお忘れなく」と咲いています。

「北方領土を忘れるな」と言うなら横田めぐみさんも忘れないで下さい。めぐみさんのお父さんの横田滋君は旧制札幌一中で中田会員の一期後輩で、お祖父さんの横田昭八先生は中田の中学の恩師です。お会いする度に心が痛みます。

話をサクラに戻します。北海道では花見と言えは花見弁当ではなくジンギスカンです。「花より団子」ならぬ、「花よりジンギスカン」なのです。何も用意していく必要はありません。鍋もコンロも公園でレンタル出来ます。

後ろに映っている建物は中田会員のマンションです。「中田が住んでいる」という意味で「中田が所有している」という意味ではありません。念のため。

義村小夜子さん平和を語る

「記憶、記録にありません。」僅か残ったその記録さえも改ざんされる時代になりました。真実が国民に伝えられない時に国はどうなるか？

2018年5月7日(月)、HBC(北海道放送)はテレビ特別番組「憲法」でその問題を掘り下げました。札幌北クラブ会員義村小夜子さん(札幌クラブチャーターメンバー義村政見氏メネット)さんはその世代を代表してテレビに登場し、子供のころの記憶を例に引いて、報道の自由、国民に真実を知らせることがいかに大切かを語りました。

義村さんの記憶によれば、日本海軍が大敗し、日本の敗勢を決定づけたと言われるレイテ沖海戦も大本営発表では「敵駆逐艦2隻3隻撃沈せり。我が方の損害軽微なり」(画面)と発表され、国民はそれを信じて、破局まで突き進んでいったかを静かに語り感銘を与えました。

義村さんは娘時代から自由学園の創立者羽仁もと子に共鳴し「全国友の会」の幹部として活躍され、中国に残る「友の会」の会員とも交流され、訪問を続けておられます。

